

# 1 令和4年産果樹の結果樹面積・収穫量・出荷量の動向

令和4年産果樹の結果樹面積は16万6,000haで、前年産に比べ2,600ha（2%）減少した。  
 収穫量は231万8,000tで、前年産に比べ5万9,000t（3%）増加し、出荷量は209万7,000tで、5万2,000t（3%）増加した。

図1 果樹の結果樹面積・収穫量・出荷量の推移（全国）

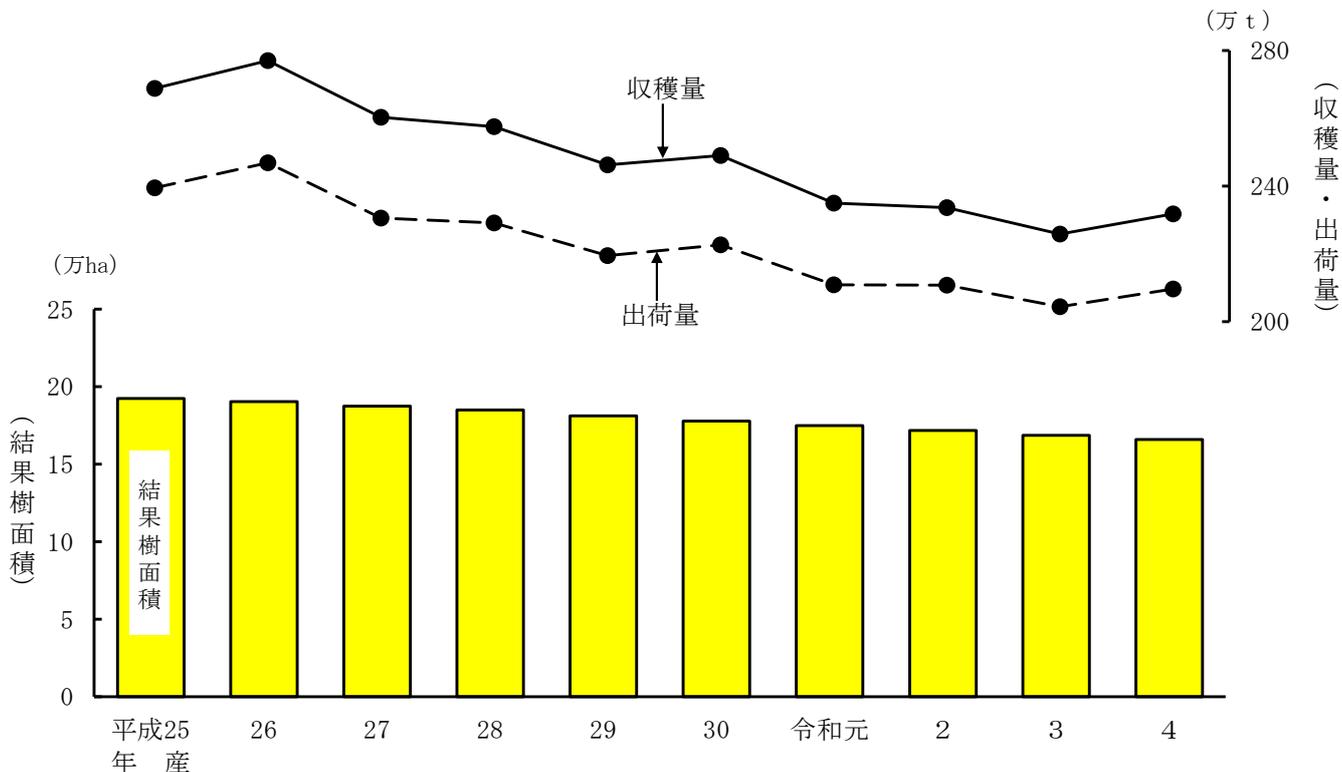


表1 令和4年産果樹の結果樹面積・10a当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	3) 対前年産比			
					結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
1) 計	166,000	...	2,318,000	2,097,000	98	nc	103	103
みかん	36,200	1,880	682,200	613,000	96	93	89	89
りんご	35,100	2,100	737,100	669,800	99	112	111	112
日本なし	10,100	1,950	196,500	183,800	98	109	106	106
西洋なし	1,380	1,930	26,700	23,700	99	125	124	125
かき	17,800	1,210	216,100	185,900	98	116	115	115
びわ	905	280	2,530	2,070	95	92	88	87
もも	9,310	1,260	116,900	108,200	100	110	109	109
すもも	2,650	709	18,800	17,200	99	101	100	101
おうとう	4,230	381	16,100	14,500	99	124	123	123
うめ	13,500	716	96,600	86,400	98	94	92	93
ぶどう	16,400	991	162,600	152,400	99	99	98	99
くり	16,300	96	15,600	12,700	97	103	99	99
2) パインアップル	313	2,370	7,420	7,270	102	104	106	108
キウイフルーツ	1,860	1,230	22,900	20,500	99	117	116	118

注：1) 計は14品目の合計である。  
 2) は、沖縄県のみ数値である。また、結果樹面積は収穫面積である。  
 3) のみかんは、果実数が増える年（表年）と少なくなる年（裏年）とが交互に発生する傾向があることから、統計表の対比については前々年産（令和2年産）と行った（みかんの各収穫時期別区分についても同様。）。

## 2 品目別の結果樹面積・10a当たり収量・収穫量・出荷量

### (1) みかん

#### ア 結果樹面積

結果樹面積は3万6,200haで、前年産に比べ800ha（2%）減少した。

なお、令和2年産に比べると1,600ha（4%）減少した。

これは、生産者の高齢化等の労力事情により廃園があったこと等による。

#### イ 10a当たり収量

10a当たり収量は1,880kgで、令和2年産を150kg（7%）下回った。

これは、天候に恵まれて着花数及び結果数が多かった令和2年産に比べると、令和3年の高温等により樹勢が低下し、令和4年産の着花数及び結果数が減少したこと等による。

#### ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は68万2,200t、出荷量は61万3,000tで、令和2年産に比べそれぞれ8万3,600t（11%）、7万7,000t（11%）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、和歌山県が22%、愛媛県が16%、静岡県が15%、熊本県が11%、長崎県が6%となっており、この5県で全国の7割を占めている。

図2 みかんの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

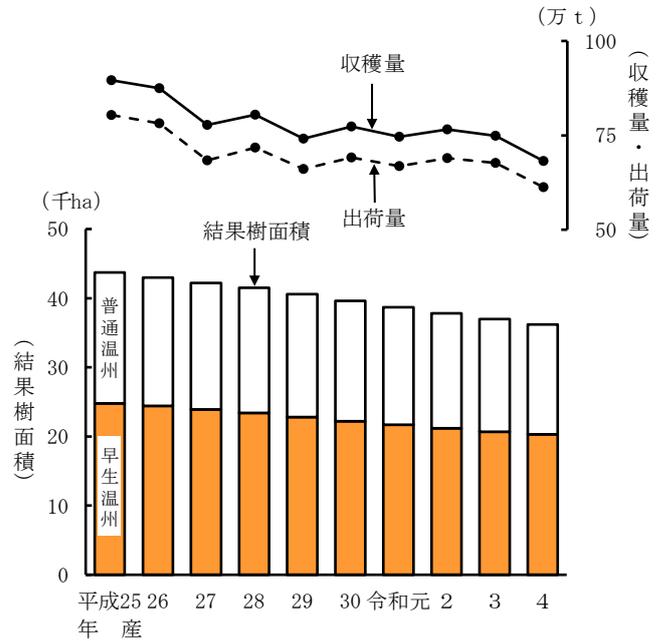
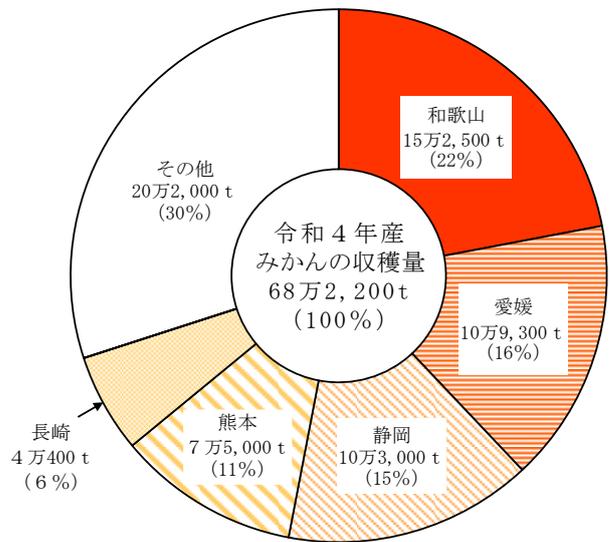


図3 みかんの都道府県別収穫量及び割合



注：統計数値及び割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。

表2 令和4年産みかんの結果樹面積・10a当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

区分	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量		出荷量	対2年産比				
			実数	割合		結果樹面積	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
みかん	ha	kg	t	%	t	%	%	%	%	%
みかん	36,200	1,880	682,200	100	613,000	98	96	93	89	89
早生温州	20,300	1,980	402,200	59	366,600	98	96	96	92	92
うち極早生みかん	5,710	1,920	109,800	16	100,900	96	94	102	95	96
ハウスみかん	345	4,990	17,200	3	16,500	96	92	102	93	94
普通温州	15,900	1,760	280,000	41	246,400	98	96	89	85	84

注：みかんは、果実数が増える年（表年）と少なくなる年（裏年）とが交互に発生する傾向があることから、結果樹面積は前年産（令和3年産）及び前々年産（令和2年産）と、10a当たり収量、収穫量及び出荷量は前々年産（令和2年産）と対比した。

(2) りんご

ア 結果樹面積

結果樹面積は3万5,100haで、前年産に比べ200ha（1%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は2,100kgで、前年産を220kg（12%）上回った。

これは、青森県、長野県等において、おおむね天候に恵まれ、着果数が十分に確保され、順調に生育したことから、作柄の悪かった前年産を上回ったこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は73万7,100t、出荷量は66万9,800tで、前年産に比べそれぞれ7万5,200t（11%）、7万300t（12%）増加した。

都道府県別の収穫量割合は、青森県が60%、長野県が18%、岩手県が6%となっており、この3県で全国の約8割を占めている。

図4 りんごの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

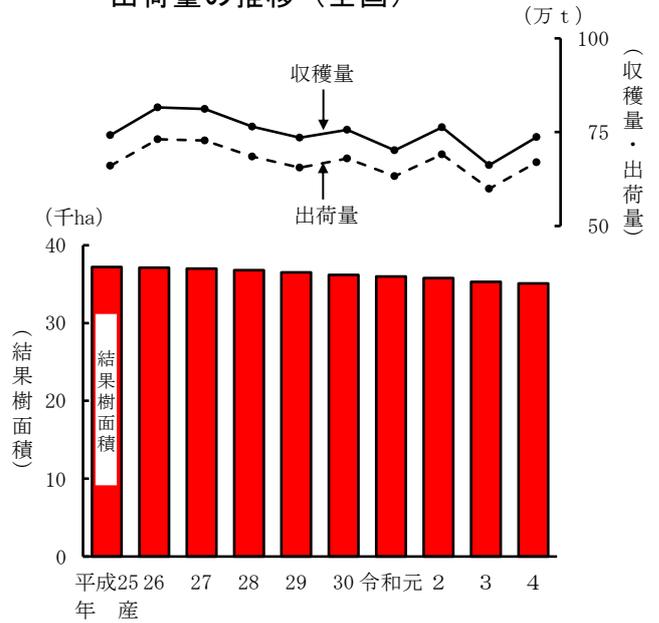


図5 りんごの都道府県別収穫量及び割合

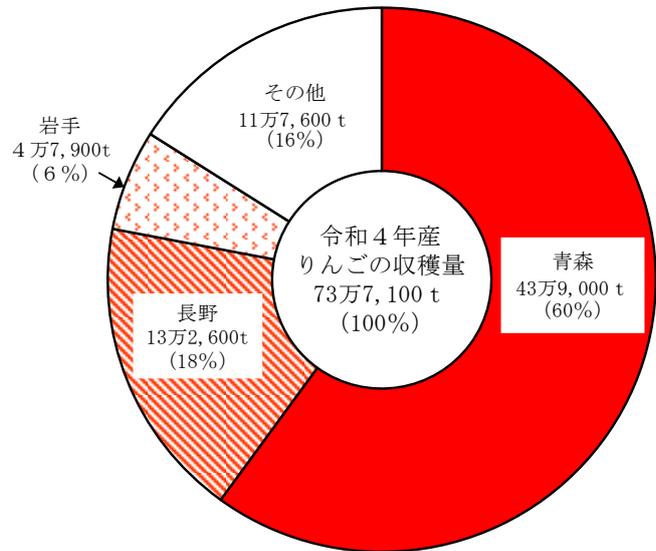


表3 令和4年産りんごの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品目・品種	結果樹面積	10a 当たり収量	収穫量		出荷量	対前年産比			
			実数	割合		結果樹面積	10a 当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	%	t	%	%	%	%
りんご	35,100	2,100	737,100	100	669,800	99	112	111	112
うちふじ	17,800	2,120	377,500	51	346,100	99	113	112	113
つがる	4,200	1,950	81,800	11	73,500	98	116	113	114
王林	2,570	2,010	51,600	7	46,600	98	109	107	107
ジョナゴールド	2,340	1,950	45,700	6	41,400	99	107	106	106

(3) 日本なし

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万100haで、前年産に比べ200ha（2%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,950kgで、前年産を160kg（9%）上回った。

これは、新潟県、福島県等において、おおむね天候に恵まれ順調に生育したことから、作柄の悪かった前年産を上回ったこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は19万6,500t、出荷量は18万3,800tで、前年産に比べそれぞれ1万1,800t（6%）、1万1,100t（6%）増加した。

都道府県別の収穫量割合は、千葉県が10%、茨城県及び栃木県が9%、福島県が8%、長野県が7%となっており、この5県で全国の約4割を占めている。

図6 日本なしの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

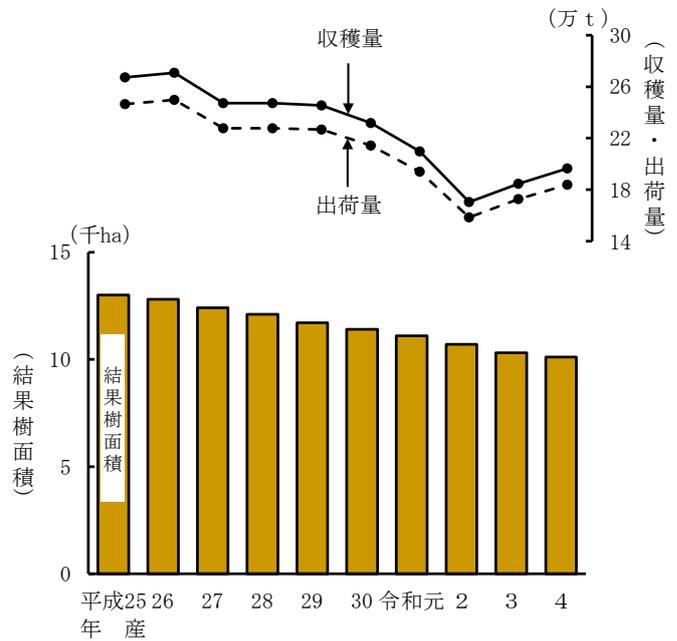


図7 日本なしの都道府県別収穫量及び割合

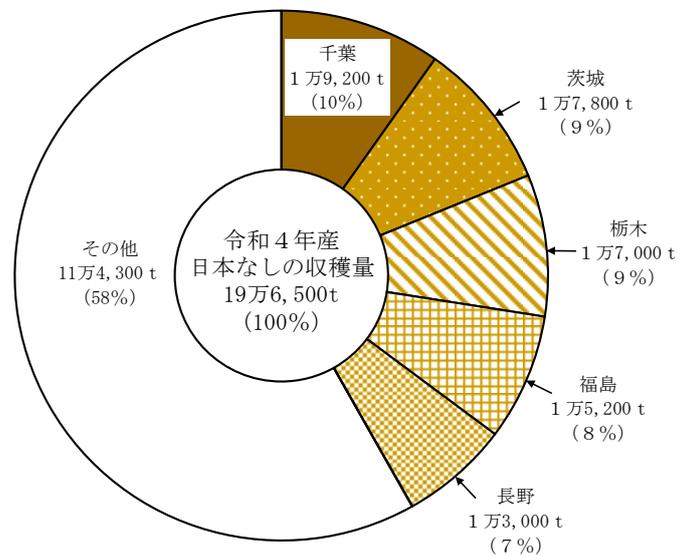


表4 令和4年産日本なしの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a 当たり収量	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a 当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
日本なし	10,100	1,950	196,500	183,800	98	109	106	106

(4) 西洋なし

ア 結果樹面積

結果樹面積は1,380haで、前年産に比べ20ha（1%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,930kgで、前年産を390kg（25%）上回った。

これは、山形県において、おおむね天候に恵まれ順調に生育したことから、凍霜害の影響により作柄の悪かった前年産を上回ったこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は2万6,700t、出荷量は2万3,700tで、前年産に比べそれぞれ5,200t（24%）、4,800t（25%）増加した。

都道府県別の収穫量割合は、山形県が68%、新潟県が8%、青森県が7%となっており、この3県で全国の約8割を占めている。

図8 西洋なしの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

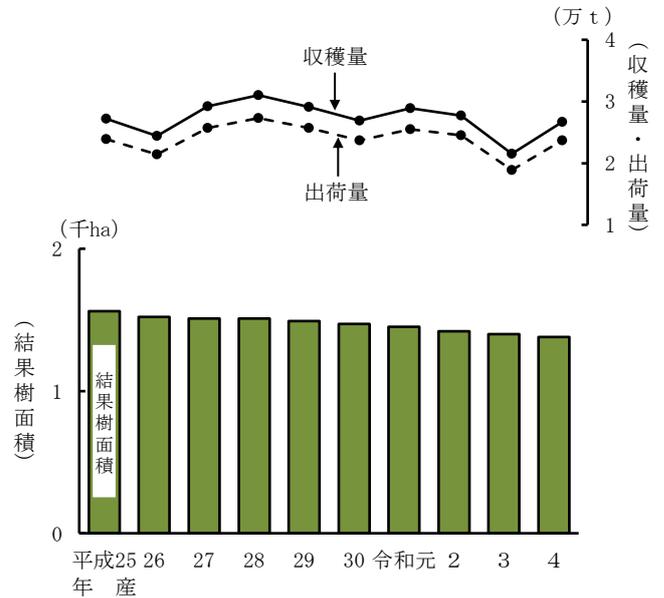


図9 西洋なしの都道府県別収穫量及び割合

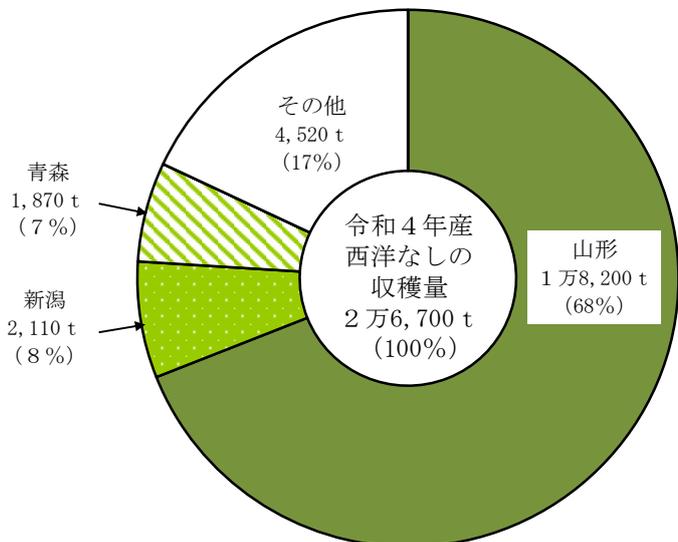


表5 令和4年産西洋なしの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a 当たり収量	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a 当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
西洋なし	1,380	1,930	26,700	23,700	99	125	124	125

(5) かき

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万7,800haで、前年産に比べ300ha（2%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,210kgで、前年産を170kg（16%）上回った。

これは、愛知県等において、おおむね天候に恵まれ順調に生育したこと、作柄の悪かった前年産を上回ったこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は21万6,100t、出荷量は18万5,900tで、前年産に比べそれぞれ2万8,200t（15%）、2万3,600t（15%）増加した。

都道府県別の収穫量割合は、和歌山県が19%、奈良県が14%、福岡県が8%、岐阜県及び愛知県が7%を占めており、この5県で全国の5割を超えている。

図 10 かきの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

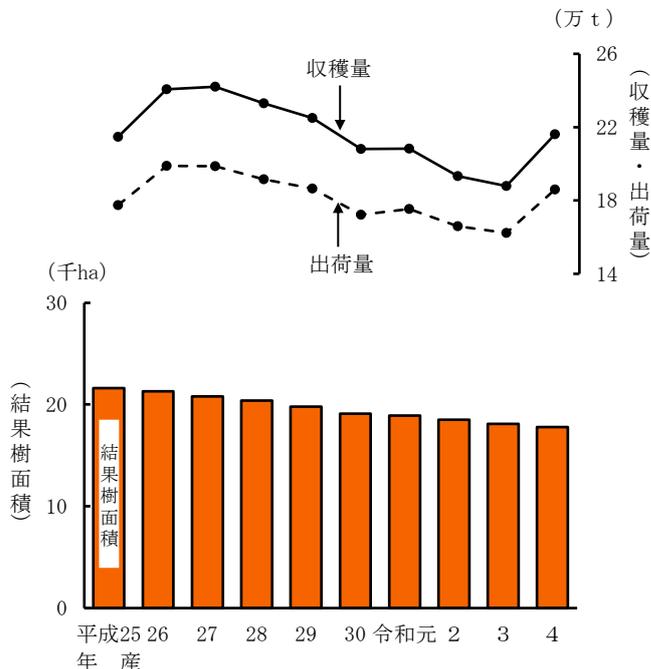


図 11 かきの都道府県別収穫量及び割合

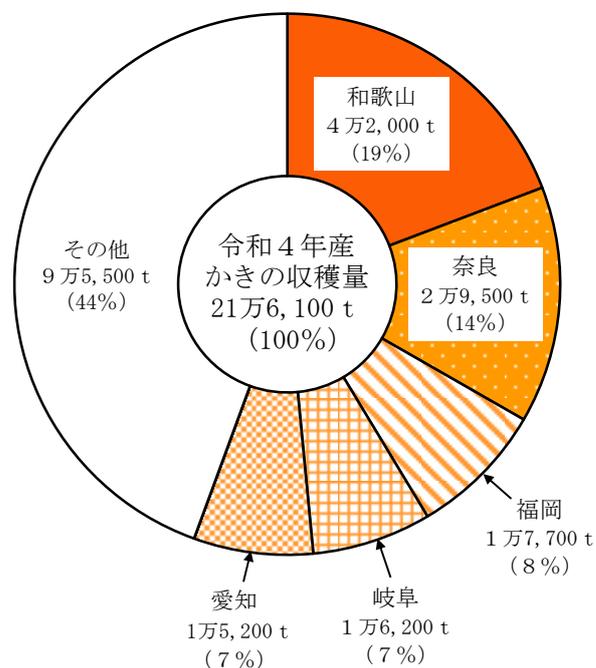


表 6 令和4年産かきの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり収量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
か き	ha 17,800	kg 1,210	t 216,100	t 185,900	% 98	% 116	% 115	% 115

(6) びわ

ア 結果樹面積

結果樹面積は905haで、前年産に比べ45ha（5％）減少した。

これは、生産者の高齢化等の労力事情により廃園があったこと等による。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は280kgで、前年産を24kg（8％）下回った。

これは、香川県において、ビワキジラミの発生により腐敗果が多発したこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は2,530 t、出荷量は2,070 tで、前年産に比べそれぞれ 360 t（12％）、310 t（13％）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、長崎県が34％、千葉県が16％となっており、この2県で全国の約5割を占めている。

図 12 びわの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

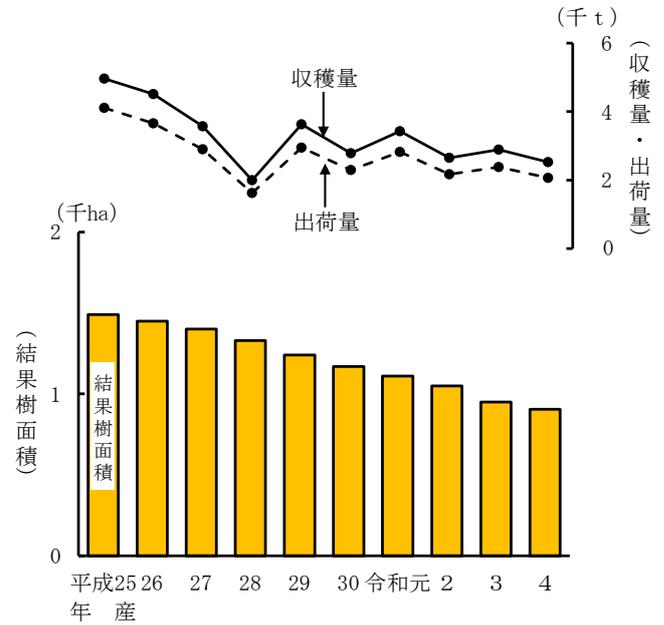


図 13 びわの都道府県別収穫量及び割合

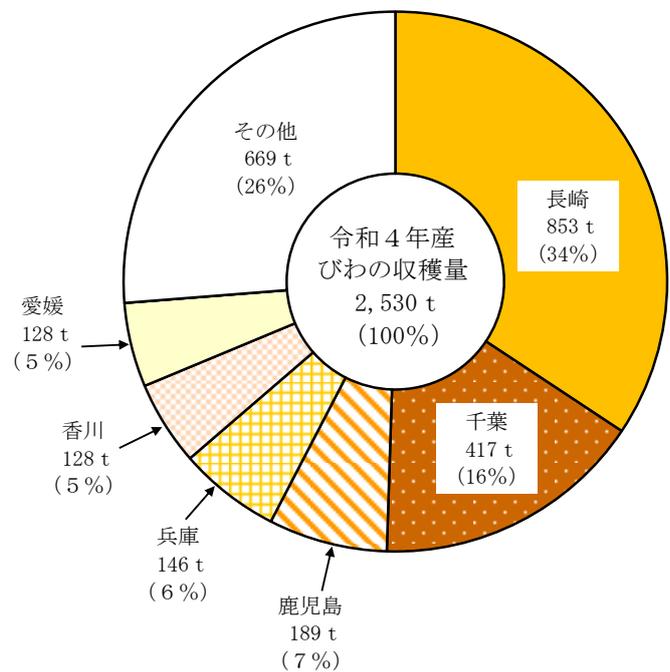


表 7 令和4年産びわの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当 たり 収	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
び わ	905	280	2,530	2,070	95	92	88	87

(7) もも

ア 結果樹面積

結果樹面積は9,310haで、前年産並みとなった。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,260kgで、前年産を110kg (10%) 上回った。

これは、福島県においておおむね天候に恵まれ順調に生育したこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は11万6,900 t、出荷量は10万8,200 tで、前年産に比べそれぞれ9,600 t (9%)、8,600 t (9%) 増加した。

都道府県別の収穫量割合は、山梨県が31%、福島県が24%、長野県が10%、山形県が8%、和歌山県が7%となっており、この5県で全国の8割を占めている。

図 14 ももの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移 (全国)

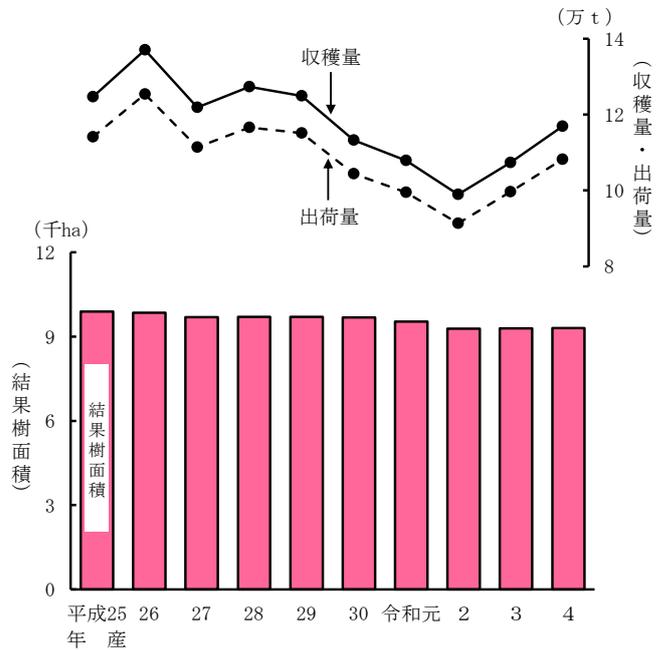


図 15 ももの都道府県別収穫量及び割合

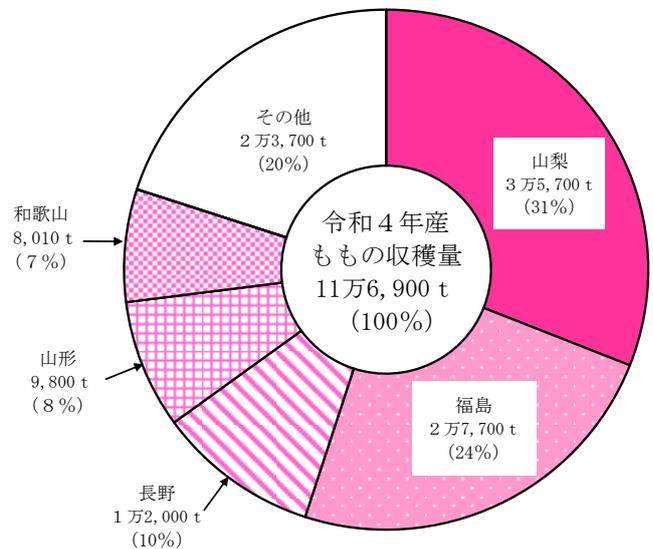


表 8 令和4年産ももの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量 (全国)

品目	結果樹面積	10a 当たり収量	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a 当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
もも	9,310	1,260	116,900	108,200	100	110	109	109

(8) すもも

ア 結果樹面積

結果樹面積は2,650haで、前年産に比べ30ha（1%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は709kgで、前年産を8kg（1%）上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は1万8,800t、出荷量は1万7,200tで、収穫量は前年並み、出荷量は前年産に比べ200t（1%）増加した。

都道府県別の収穫量割合は、山梨県が32%、長野県が16%、山形県が11%、和歌山県が9%、青森県が5%となっており、この5県で全国の約7割を占めている。

図 16 すももの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

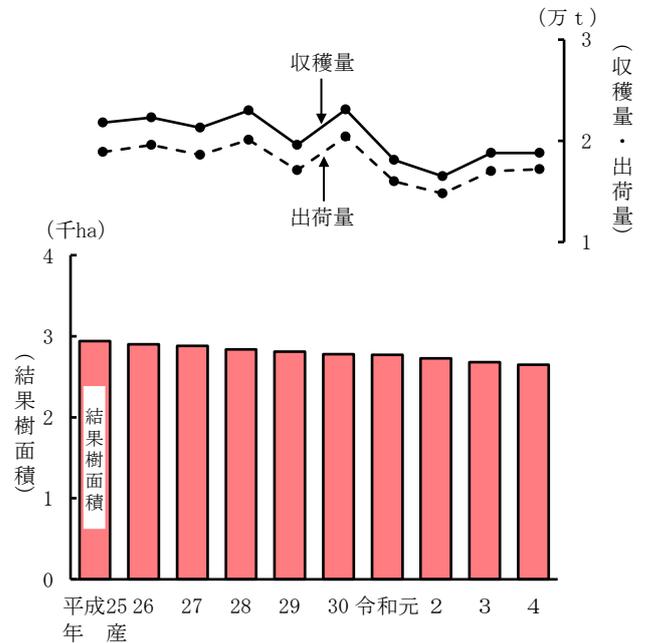


図 17 すももの都道府県別収穫量及び割合

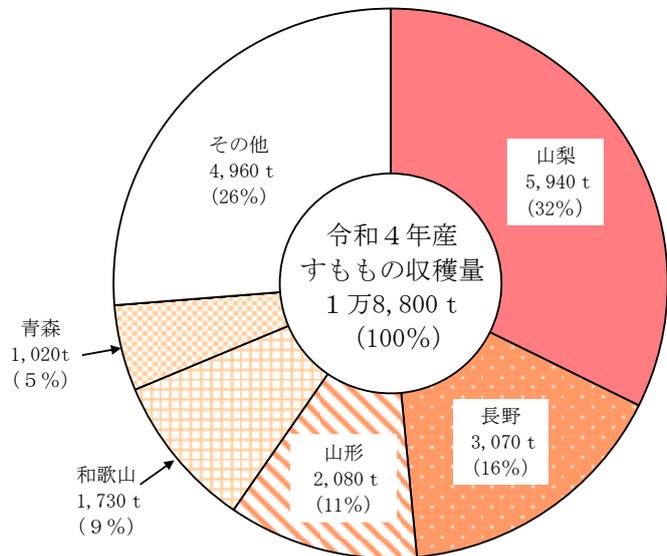


表 9 令和4年産すももの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり収量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
す も も	2,650	709	18,800	17,200	99	101	100	101

(9) おうとう

ア 結果樹面積

結果樹面積は4,230haで、前年産に比べ30ha（1%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は381kgで、前年産を73kg（24%）上回った。

これは、山形県において、作柄の悪かった前年産を上回ったこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は1万6,100t、出荷量は1万4,500tで、前年産に比べそれぞれ3,000t（23%）、2,700t（23%）増加した。

都道府県別の収穫量割合は、山形県が全国の約8割を占めている。

図 18 おうとうの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

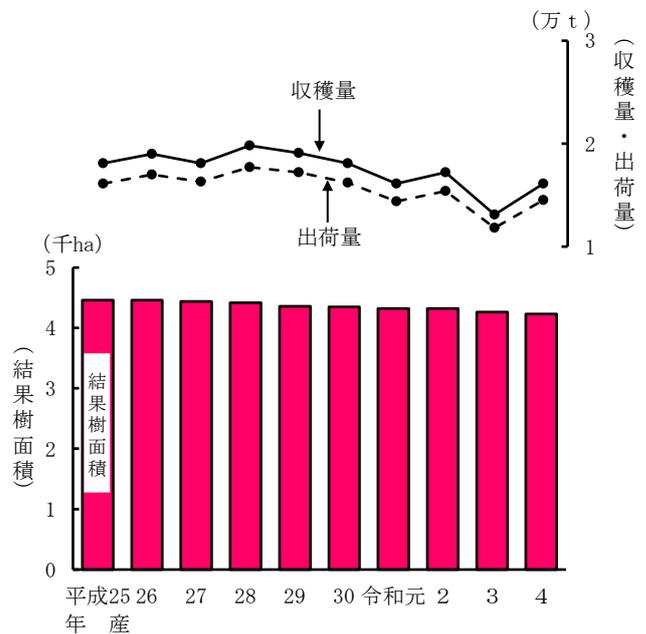


図 19 おうとうの都道府県別収穫量及び割合

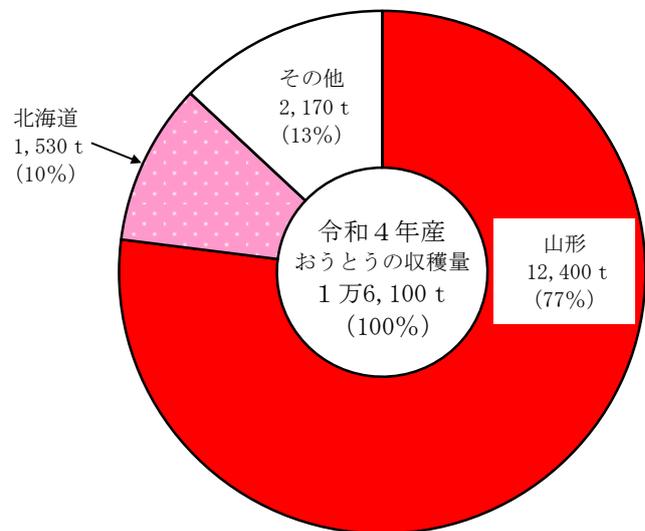


表 10 令和4年産おうとうの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
お う と う	4,230	381	16,100	14,500	99	124	123	123

(10) うめ

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万3,500haで、前年産に比べ300ha（2%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は716kgで、前年産を42kg（6%）下回った。

これは、和歌山県において、5月の低温、少雨により果実の肥大が抑制されたこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は9万6,600t、出荷量は8万6,400tで、前年産に比べそれぞれ8,000t（8%）、6,800t（7%）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、和歌山県が全国の約7割を占めている。

図20 うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

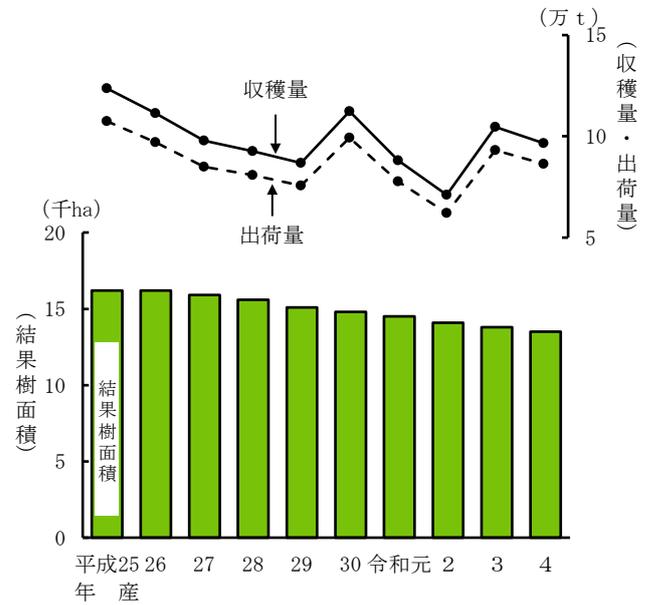


図21 うめの都道府県別収穫量及び割合

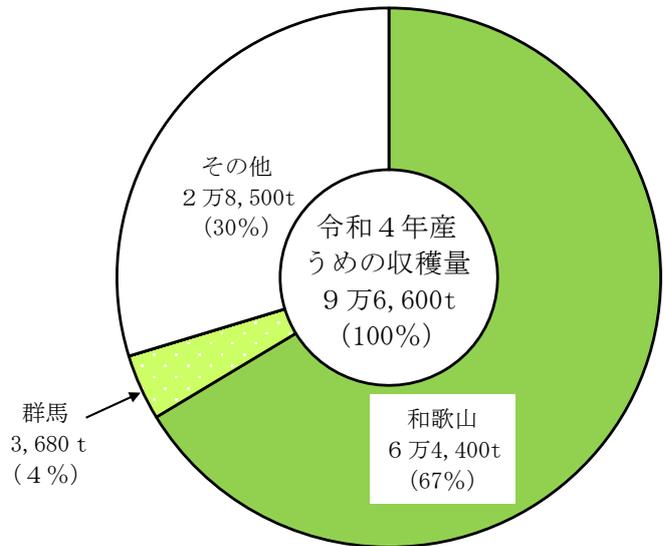


表11 令和4年産うめの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
うめ	13,500	716	96,600	86,400	98	94	92	93

(11) ぶどう

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万6,400haで、前年産に比べ100ha（1%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は991kgで、前年産を9kg（1%）下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は16万2,600t、出荷量は15万2,400tで、前年産に比べそれぞれ2,500t（2%）、1,500t（1%）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、山梨県が25%、長野県が18%、岡山県及び山形県が9%、福岡県が4%となっており、この5県で全国の約7割を占めている。

図 22 ぶどうの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

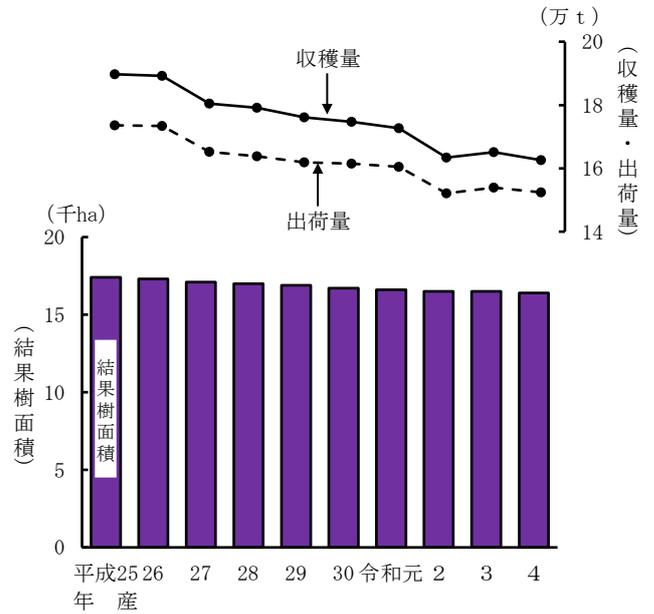


図 23 ぶどうの都道府県別収穫量及び割合

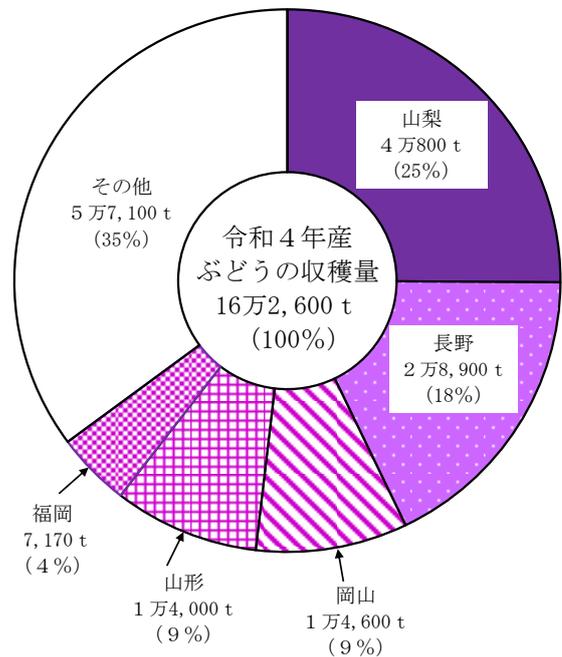


表 12 令和4年産ぶどうの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当 たり 収	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
ぶ ど う	16,400	991	162,600	152,400	99	99	98	99

(12) くり

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万6,300haで、前年産に比べ500ha（3%）減少した。

これは、生産者の高齢化等の労力事情により廃園があったこと等による。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は96kgで、前年産を3kg（3%）上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は1万5,600t、出荷量は1万2,700tで、前年産に比べいずれも100t（1%）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、茨城県が24%、熊本県が15%、愛媛県が8%、岐阜県が5%、長野県が4%となっており、この5県で全国の5割を超えている。

図 24 くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

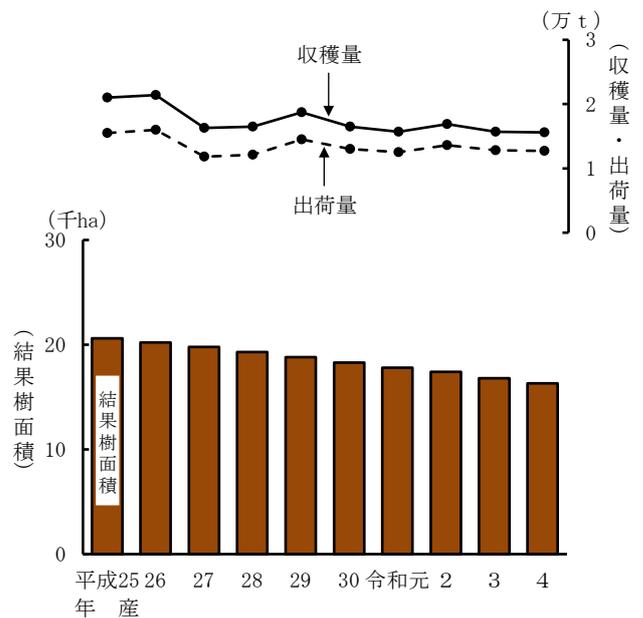


図 25 くりの都道府県別収穫量及び割合

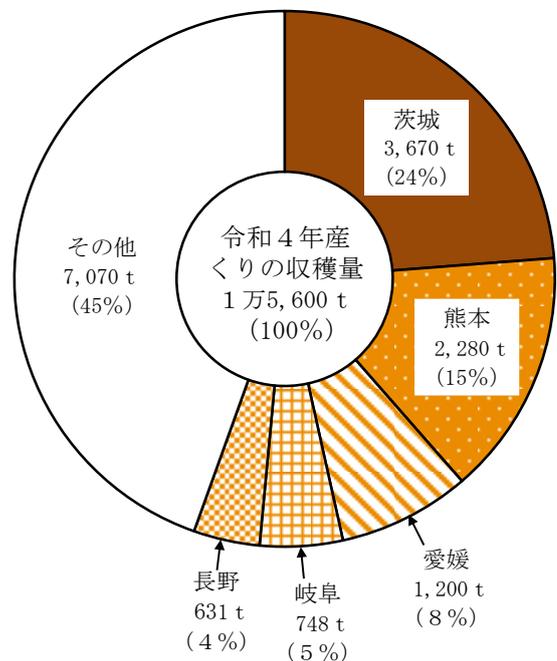


表 13 令和4年産くりの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり収量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
くり	16,300 ha	96 kg	15,600 t	12,700 t	97 %	103 %	99 %	99 %

(13) パインアップル（沖縄県）

ア 収穫面積

収穫面積は313haで、前年産に比べ5 ha（2%）増加した。

イ 10 a 当たり収量

10 a 当たり収量は2,370kgで、前年産を100kg（4%）上回った。

これは、作柄の悪かった前年産に比べ、生育期間を通して天候がおおむね順調に経過し、果実の生育が順調だったこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は7,420 t、出荷量は7,270 tで、前年産に比べそれぞれ430 t（6%）、520 t（8%）増加した。

出荷量を用途別にみると、生食向けが5,020 t（69%）、加工向けが2,250 t（31%）となっている。

図 26 パインアップルの収穫面積、収穫量及び出荷量の推移（沖縄県）

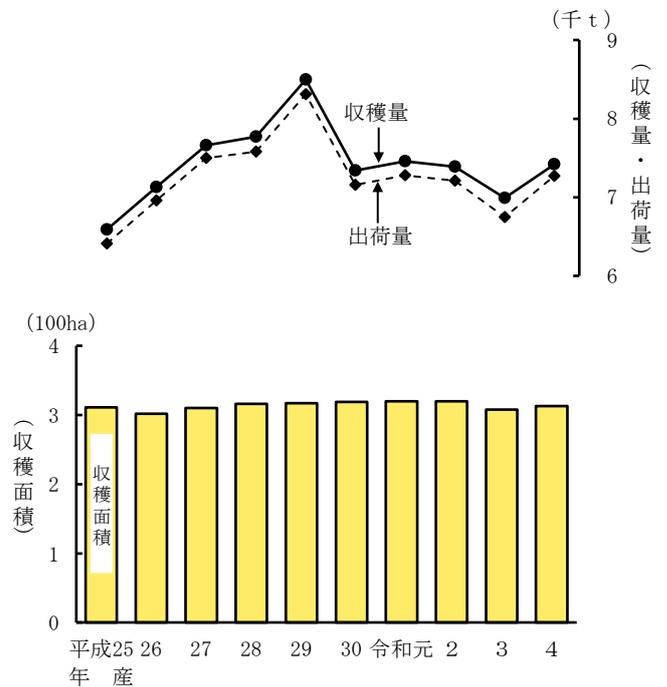


図 27 パインアップルの用途別出荷量割合（沖縄県）

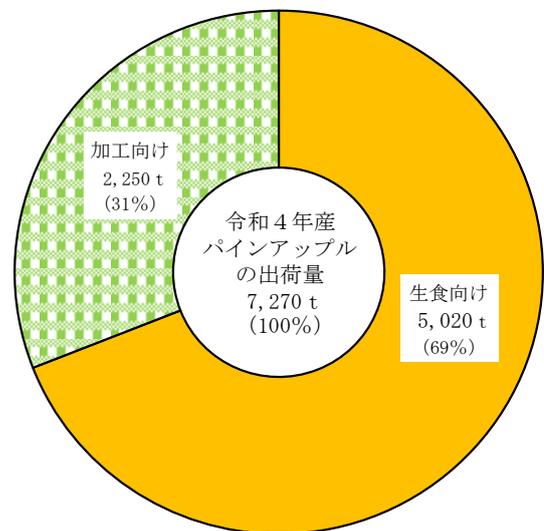


表 14 令和4年産パインアップルの収穫面積・10 a 当たり収量・収穫量・出荷量（沖縄県）

区分	収穫面積	10 a 当たり収	収穫量	出荷量			対前年産比					
				計	生食向け	加工向け	収穫面積	10 a 当たり収	収穫量	出荷量		
										計	生食向け	加工向け
ha	kg	t	t	t	t	%	%	%	%	%	%	
沖縄	313	2,370	7,420	7,270	5,020	2,250	102	104	106	108	108	106
うち 沖縄本島	180	2,190	3,940	3,880	1,790	2,090	101	104	105	105	103	107
八重山	131	2,640	3,460	3,360	3,200	162	102	106	108	111	111	103

(14) キウイフルーツ

ア 結果樹面積

結果樹面積は1,860haで、前年産に比べ20ha（1%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,230kgで、前年産を180kg（17%）上回った。

これは、作柄の悪かった前年産に比べ、開花期の天候がおおむね順調に経過したことから、開花・受精が良好で着果数が十分確保され、結果数が多かったこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は2万2,900t、出荷量は2万500tで、前年産に比べそれぞれ3,200t（16%）、3,100t（18%）増加した。

都道府県別の収穫量割合は、愛媛県が21%、福岡県が17%、和歌山県が15%、神奈川県が5%、群馬県が4%となっており、この5県で全国の約6割を占めている。

図 28 キウイフルーツの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

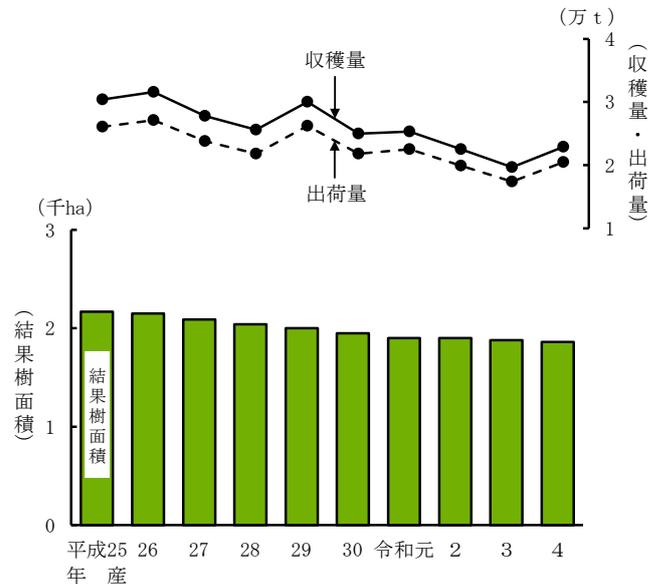


図 29 キウイフルーツの都道府県別収穫量及び割合

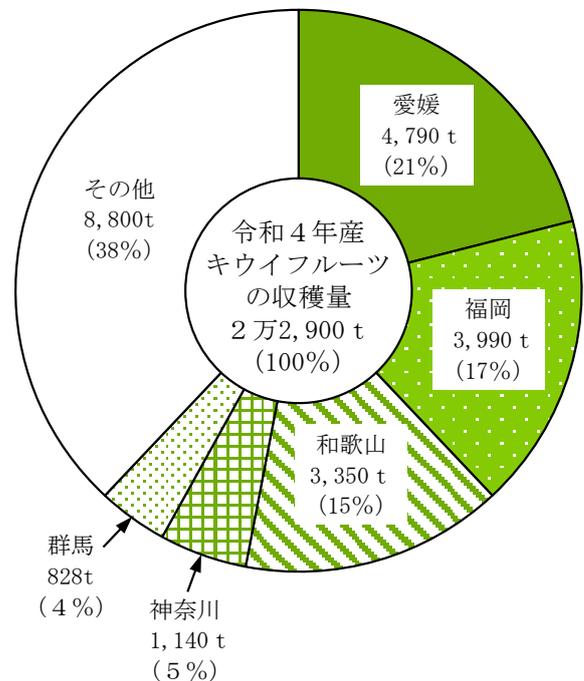


表 15 令和4年産キウイフルーツの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積 ha	10 a 当たり 収 kg	収 穫 量 t	出 荷 量 t	対 前 年 産 比			
					結果樹面積 %	10 a 当たり 収 %	収 穫 量 %	出 荷 量 %
キウイフルーツ	1,860	1,230	22,900	20,500	99	117	116	118